

## お笑い芸人・志村けんさんから学ぶ その2

2020. 5. 9

**「できるだけ遊んで、経験(けいけん)して、小さな傷(きず)をたくさん作って学習してみる。学ぶと同時(どうじ)に、傷(きず)になれて免疫力(めんえきりょく)をつけていくことが大切(たいせつ)だ。」(志村けん)**



志村けんさんは、遊びのたいせつさをおしえてくれます。

いろいろなあそびがあります。

からだをうごかしてあそぶ。テレビゲームをしてあそぶ。なにかをつくってあそぶ。だれとあそぶでしょうか。ひとりで、仲間と、家の人となど。

志村けんさんは、あそびのなかで、いろいろなことが学べると言っています。友だちと仲よくすること、けんかをする、話をすること、うまくできるように工夫すること、失敗すること、からだを強くすることなど、遊びからとてもたくさんのお話をまなぶことができます。

「傷(きず)」とは何でしょうか。体をきずつけることばかりでないでしょう。「心の傷」もあります。けんかして、自分の思い通りにならなくて、くやしい思いをすること、がっかりすること、なにかもいやになってしまうこと。

でも、傷をたくさんうけながら、だんだんと、なれていくことがだいじだと言います。ちょっとしたことに「心がおれたりしない」人、強い人になるのです。すぐに、「心がおれた」と言わなくなるかもしれません。

いろいろな遊びをしながら、「小さい傷」をつくり、心を強くしてほしいと思います。

志村けんさんのたのしいコトは、  
小さな傷をたくさんつくりながらでき  
あがったものかもしれませんね。

